

賢治が触れた
チェロの名曲を
紐解く

賢治の記憶

Kana Yamaguchi & Toshiko Mitsuuda

山口奏・満田俊彦
チェロ
コンサート
1

CELLO: 山口 奏

PROGRAM

- J. S. バッハ 無伴奏チェロ組曲 第1番より
W. バルギーレ チェロとピアノのためのアダージョ ト長調 op.38
R. シューマン 〈子供の情景〉より トロイメライ Op.15-7 へ長調 他

9.28

土

19:00- 60席限定

チケット料金

3000円 (全席自由)



PIANO: 満田 俊彦

2

トリオアンサンブル
ワNZ

Trio ensemble WANS



フルート 村野井 友菜
クラリネット 木戸口 夏海
ファゴット 宮崎 航大

賢治が愛した音楽を
木管三重奏でひらく

チケット料金

2000円 (全席自由)

PROGRAM

- A. ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」第2楽章(家路)
W. A. モーツァルト 交響曲40番 ト短調 K. 550 第1楽章
L. v. ベートヴェン 三重奏曲 op. 87 ハ長調 他

賢治の 愛した音楽

10.19 | 20

土 | 日

19:00- 60席限定 | 11:00-



石川啄木・宮沢賢治、双方とも「音楽」と深い結び付きをもった人生でした。啄木は作曲家・ワーグナーの研究に没頭し、自分で作曲したとも言われています。賢治の作品からはベートーヴェンの交響曲が聞こえ、彼が集めたレコードにはショパン、ドビュッシー、ストラヴィンスキー等、色彩豊かなクラシック音楽を愛した痕跡が残っています。青春館コンサートシリーズ「SEE SHUN-KAN」は、岩手にゆかりのある音楽家たちと一緒に、啄木・賢治が聞いた音楽をひもとき、彼らと音楽のつながりの糸をたぐりよせてみようという試みです。第1回は賢治とチェロ、第2回は賢治の聞いた音楽をテーマにお送りします。

●第1回：賢治の記憶

宮沢賢治は、30歳の頃チェロを担いで東京に行き、3日間チェロのレッスンを受けたと言われています。その時『ヴィオロンセロ教本』を先生からもらい、岩手に戻ります。今回のコンサートでは、賢治も学んだであろう教本から、チェロの名曲をピックアップし、お聞きいただきます。チェロは岩手県出身でプラハに留学中のチェリスト＝山口奏さんによる演奏です。



山口 奏 チェロ
Kana Yamaguchi | Cello

岩手県滝沢市出身。9歳よりチェロを始める。東京音楽大学卒業後、チェコ政府奨学金を得てプラハ芸術アカデミー室内楽科に在籍。2023年度より同大学のチェロ科在籍中。2022年北国際音楽コンペティション第2位。エクトル・カルテットとして International music competition Dvořák mladým 金賞受賞。これまでにチェロを三浦祥子、羽川真介、河野文昭、山本裕康、荻田雅治、富岡廉太郎、Jaroslav Kulhan、Michal Kaňka各氏に師事。室内楽をウェールズ弦楽四重奏団、パノハ弦楽四重奏団各団体に師事。

●第2回：賢治の愛した音楽

宮沢賢治が聞いていたとされるレコードには、数多くの作曲家の曲が含まれています。今回はその中から、モーツァルト第40番などを木管三重奏の響きでお聞きいただきます。また、種山ヶ原の歌として、賢治が詩をつけた〈家路〉、モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》の『お手をどうぞ』を主題にしたベートーヴェンによる三重奏曲へと「歌」をテーマにした親しみやすいプログラムをお届けします。



トリオアンサンブル ワンズ
木管三重奏

Trio ensemble WANS | Woodwind trio

フルート 村野井 友菜
クラリネット 木戸口 夏海
ファゴット 宮崎 航大

岩手を中心に精力的に活動している若手木管奏者が2023年に結成したフルート、クラリネット、ファゴットによるアンサンブルトリオ「WANS」唯一<ONE>の音を求めて、ワンズと命名。というのは後付けで、本来は3人とも犬を飼っていることが由来しており、「わんこと一緒にクラシックコンサート」など、ジャンルを超えて、クラシック音楽の魅力伝える企画を実施している。3人というコンパクトな編成ながら、軽やかなものはもちろん、重厚感ある多彩な演奏を得意とする。

村野井 友菜 フルード Yuna Muranoi | Flute

盛岡市出身。常盤木学園高等学校音楽科卒業。国立音楽大学音楽学部演奏学科フルート専攻卒業。これまでにフルートを中島誠一、山元康生、佐久間由美子の各氏に師事。現在、ソロのほか室内楽、オーケストラの団員として演奏活動を行う。また、指導者として、後進の育成にも力を入れており、2020年に日本クラシック音楽コンクール「優秀指導者賞」を受賞。コンクールにおいて、優勝者、入賞者を数多く輩出している。ヤマハ大人音楽レッスンのフルート科及びリコーダー科の講師としても活動。

木戸口 夏海 クラリネット Natsumi Kidoguchi | Clarinet

北上市出身・在住。専修大学北上高等学校を経て、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修クラリネット専攻を卒業。これまでに、クラリネットをエマニュエル・ヌヴェー氏に師事。現在、音楽の森ヴァース株式会社講師、さくらホール・前沢ふれあいセンター連携事業アウトリーチ「いわての演奏家とつくる音楽会」第3期登録アーティスト。クラリネットアンサンブル「ClarinetFarbe」主宰。ソロのほか室内楽・オーケストラ等で幅広く演奏活動を行っている。また、指導者として後進の育成にも当たっている。

宮崎 航大 ファゴット Kodai Miyazaki | Fagotto

盛岡市出身。国立音楽大学附属高校を卒業後、ウィーン私立音楽芸術大学にてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席ファゴット奏者のソフィー・デルヴォー氏の元でファゴットを専攻。これまでに馬込勇氏、ミハエル・ヴェルバ氏に師事。また、フィルハーモニー・ザルツブルクの2022年アカデミー生としてザルツブルクを中心にオーケストラ演奏会に出演。The Norma Hooks Young Artist International Competition 2021にて第3位。2022年7月「第2回イブラ・グラント・アワード・ジャパン」にて準グランプリ(第2位)を受賞。



満田 俊彦 ピアノ
Toshihiko Mitsuda | Piano

10歳よりピアノを始める。東京音楽大学・同大学院卒業。これまで様々なコンクールに入賞している他、ジャンル・場所を問わず演奏会等に出演している。ピアノソロだけでなく、アンサンブルやプラスバンド・オーケストラとの共演などでもあり、幅広く演奏活動をしている。これまでにピアノソロを大谷眞実、西川秀人、故野島稔各氏に、伴奏法を山洞智、只野なつき、山田武彦各氏に師事。